



神奈川県

厚木土木事務所 東部センター

令和5年度

厚木土木事務所

東部センター事業概要

令和5年7月

# 目 次

1	組 織	1
	(1) 沿革	1
	(2) 事務所の組織機構	1
	(3) 職員の配置状況及び分掌事務	2
2	所管区域の概要	3
	(1) 地域特性	3
	(2) 管内の概要	3
3	予 算	4
	(1) 令和5年度当初予算指定箇所別事業概要	4
	(2) 令和4年度予算執行状況	5
	ア 収 入	5
	イ 支 出	7
	(3) 令和5年度主要事業	8
4	事務事業の実施状況	22
	(1) 令和4年度工事執行状況	22
	(2) 令和4年度許認可事務処理状況	24
	(3) 令和4年度開発許可・建築確認等事務処理状況	25
	(4) 令和4年度用地取得及び補償状況	26
5	管 理 施 設	27
	(1) 道 路	27
	ア 道路状況	27
	イ 横断歩道橋状況	28
	ウ 橋りょう状況	29
	エ トンネル状況	30
	オ 道路照明灯設置状況	31
	(2) 河 川	32
	(3) 遊 水 地	32
	(4) 公 園	33

6	指 定 区 域	34
	(1) 都市計画区域	34
	(2) 市街化区域及び市街化調整区域	34
	(3) 急傾斜地崩壊危険区域	34
	(4) 土砂災害警戒区域	35
	(5) 土砂災害特別警戒区域	35
7	財産管理状況	36
	(1) 行政財産	36
	ア 土 地	36
	イ 建 物	36
	(2) 普通財産	37
	土 地	37
	(3) 重要物品	38
8	水 防 組 織	39
	(1) 組織系統	39
	(2) 水防事務分掌	40
	(3) 水防時における通信連絡基本系統図〔その1〕	41
	(4) 城山ダム放流通報連絡系統図（水防関係）	42

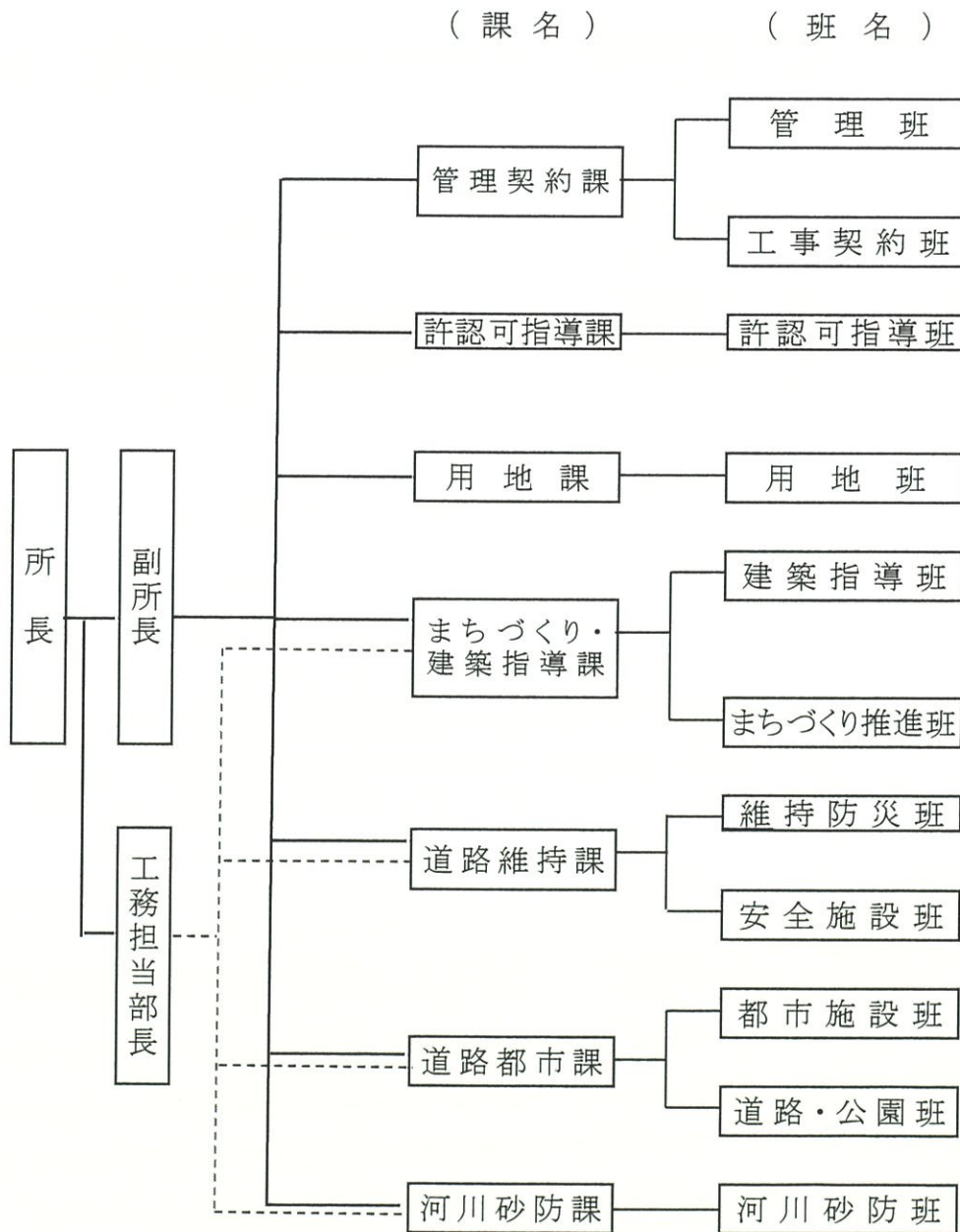
# 1 組織

## (1) 沿革

平成22年4月1日、神奈川県行政機関設置条例の一部を改正する条例(平成21年条例第95号)及び神奈川県行政組織規則の一部を改正する規則(平成22年規則第16号)により、管理課、工事契約課、まちづくり・建築指導課、許認可指導課、用地課、道路維持課、道路都市課、河川砂防課の8課からなる厚木土木事務所東部センターが綾瀬市寺尾本町1-11-3に発足しました。

その後、令和元年6月1日に管理課と工事契約課が統合され、管理契約課となりました。

## (2) 事務所の組織機構



## (3) 職員の配置状況及び分掌事務

令和5年6月1日現在

組 織	氏名	分 掌 事 務	職 員 数							
			事務職員	技術職員	技能職員	臨時的任用職員	再任用職員	会計年度任用職員	計	
所 長	池田 六大	所の統括に関すること。		1						1
副 所 長	木部 力淑	所の統括補佐に関すること。	1							1
工務担当部長	川田 宗弘	工務業務の総括に関すること。 まちづくり・建築指導業務の総括に関する こと。		1						1
管理契約課長	中野 泰則	公印、文書、土木事務の入札、契約、予算 経理、所内の連絡調整等に関すること。	5		2		3	1		11
許 認 可 指 導 課 長	杉本 剛	道路、河川、急傾斜地、公園の管理取締 り、屋外広告物及び廃道、廃川敷地の調 査、境界の確定に関すること。	6				1			7
用 地 課 長	川瀬 勝之	土木工事に関する用地の取得等、登記及 び取得等に伴う損失の補償に関すること。	5				1			6
まちづくり・ 建築指導課長	小島 良則	建築確認、開発許可、地域のまちづくりに 関すること。		12				4		16
道路維持課長	平本 浩一	道路の補修、維持管理及び交通安全施設 等の整備、電線地中化促進に関すること。		8	2			3		13
道路都市課長	沼上 洋一	街路事業、道路施設、改良、舗装及び都 市公園の整備、維持管理に関すること。		8						8
河川砂防課長	直井 達郎	河川及び急傾斜地事業に関すること。		7		1		2		10
計			17	37	4	1	5	10		74

## 2 所管区域の概要

### (1) 地域特性

厚木土木事務所東部センター管内は、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市の4市を所管区域とし、県のほぼ中央部に位置しています。

東は境川、西は相模川に挟まれた東西約10km、南北約13km、面積は93.39km<sup>2</sup>で県土面積の3.86%を、管内の人口は59万余人で県全体の6.48%を占めています。

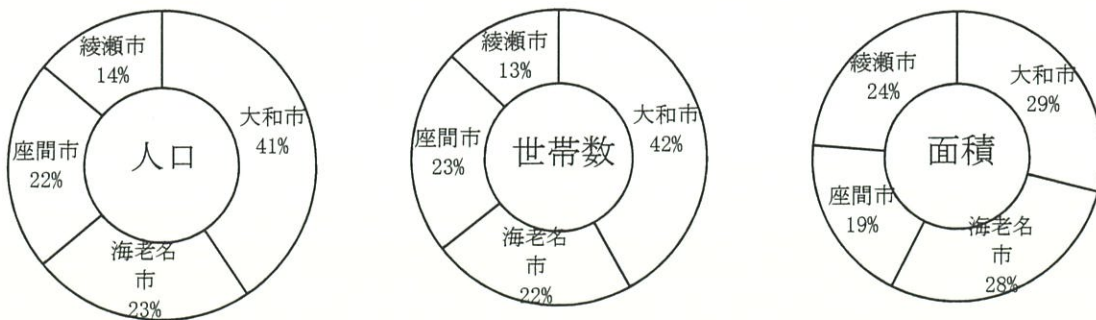
また、管内中央を東名高速道路、国道246号、県道40号等の主要道路が横断する形で走っています。

### (2) 管内の概要

市 別	人 口	世 帯 数	総 面 積
大和市	243,214	114,956	27.09
海老名市	139,757	61,536	26.59
座間市	132,028	61,789	17.57
綾瀬市	83,022	35,449	22.14
計	598,021	273,730	93.39
県 計	9,234,566	4,341,998	2,416.32
県計に占める割合 %	6.48	6.30	3.86

注1 面積は、国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調(令和5年1月1日)」による。

注2 人口及び世帯は、「神奈川県人口統計調査結果(令和5年5月1日)」による。



注3 パーセンテージは管内に占める割合。

### 3 予算

#### (1) 令和5年度当初予算指定箇所別事業概要

令和5年4月1日現在

年度対比 事業大別		令和5年度		令和4年度	
		箇所数	予算額(千円) (前年度比)	箇所数	予算額(千円)
道路・ 街路関係	道路維持事業	24	644,250	21	590,250
	交通安全施設等整備事業	16	414,800	15	404,000
	道路新設改良事業	5	561,622	5	436,022
	橋りょう維持事業	13	494,100	8	335,000
	電線地中化促進事業	2	90,000	3	78,713
	街路事業	9	656,000	10	1,035,000
	計	69	2,860,772 (99.36%)	62	2,878,985
河川 関係	河川維持事業	6	67,000	5	161,500
	河川改修事業	18	1,693,178	18	2,464,400
	砂防施設等新設改良事業	4	52,500	5	24,500
	計	28	1,812,678 (68.39%)	28	2,650,400
都市 関係 計画	公園事業	4	103,711	4	96,182
	計	4	103,711 (107.82%)	4	96,182
合計		101	4,777,161 (84.91%)	94	5,625,567

事務費等は除く

一円費は箇所数に含めない

(2) 令和4年度 予算執行状況

ア 収入

一般会計

科 目	細 節	収入済額
(款) 分担金及び負担金		3,754,403
(項) 負 担 金		3,754,403
(目) 土 木 費 負 担 金		3,754,403
(節) 道路橋りょう費負担金		3,754,403
	電線地中化促進事業費負担金	3,120,480
	道路損傷負担金	633,923
(款) 使用料及び手数料		148,654,541
(項) 使 用 料		131,404,461
(目) 土 木 使 用 料		131,404,461
(節) 土木管理費使用料		17,232
	行政財産使用料	17,232
(節) 道路橋りょう費使用料		122,100,664
	道 路 使 用 料	122,100,664
(節) 河川海岸費使用料		4,221,616
	河 川 使 用 料	4,220,096
	行政財産使用料（河川課）	1,520
(節) 都市計画費使用料		5,064,949
	公 園 使 用 料	5,064,949
(項) 証 紙 収 入		17,250,080
(目) 証 紙 収 入		17,250,080
(節) 証 紙 収 入		17,250,080
	証 紙 収 入	17,250,080
(款) 財 産 収 入		660,000
(項) 財 産 運 用 収 入		660,000
(目) 財 産 貸 付 収 入		660,000
(節) 土地建物等貸付収入		660,000
	土地建物貸付収入 （県土整備局経理課）	660,000



科 目	細 節	収 入 済 額
(款) 諸 収 入		6,615,459
(項) 受 託 事 業 収 入		4,872,600
(目) 土 木 受 託 事 業 収 入		4,872,600
(節) 道 路 橋 り ょ う 費 受 託 事 業 収 入		4,872,600
	路 面 復 旧 事 業 受 託 収 入	4,872,600
(項) 立 替 収 入		87,602
(目) 土 木 立 替 収 入		87,602
(節) 土 木 管 理 費 立 替 収 入		77,602
	土 木 事 務 所 等 庁 費 立 替 収 入	77,602
(節) 都 市 計 画 費 立 替 収 入		10,000
	公 園 施 設 立 替 収 入	10,000
(項) 雑 入		1,655,257
(目) 雑 入		1,655,257
(節) 土 木 費 雑 入		1,655,257
	公 文 書 複 写 代 収 入	49,910
	そ の 他 ( 厚 木 土 木 事 務 所 東 部 セ ン タ ー )	60
	そ の 他 ( 道 路 管 理 課 ) ( 0708 )	1,605,287
計		159,684,403

イ 支 出

一般会計

款	項	目	支 出 額
総務費			20,224,607
	総 務 管 理 費		20,224,607
		一 般 管 理 費	19,720,002
		人 事 管 理 費	7,515
		財 産 管 理 費	497,090
土木費			4,557,386,221
	土 木 管 理 費		36,590,008
		土 木 総 務 費	36,590,008
	道 路 橋 り よ う 費		2,031,292,623
		道 路 橋 り よ う 維 持 費	1,429,978,536
		道 路 橋 り よ う 新 設 改 良 費	601,314,087
	河 川 海 岸 費		2,188,105,616
		河 川 維 持 費	370,557,362
		河 川 改 修 費	1,810,664,205
		水 防 費	6,884,049
	砂 防 費		21,236,536
		砂 防 維 持 費	6,982,200
		砂 防 施 設 等 新 設 改 良 費	14,254,336
	都 市 行 政 費		1,529,225
		建 築 指 導 費	1,529,225
	都 市 計 画 費		278,632,213
		都 市 計 画 総 務 費	120,695
		都 市 整 備 費	159,400
		公 園 費	278,352,118
	合 計		4,577,610,828

### (3) 令和5年度主要事業

#### ア 道路維持事業

道路交通の安全と、円滑で快適な通行を確保するため、道路施設の維持補修、道路災害の防除、歩道・照明灯等の交通安全施設の整備を行っています。

##### ・交通安全施設等整備事業 国道467号

大和市下和田地内では、沿道に高座渋谷駅や大型商業施設等が立地しており、また、通学路に指定されていることから、歩行者の通行が多いにもかかわらず、歩道幅員が狭く危険な状況となっています。このため、歩道の拡幅整備を実施し、歩行者の安全を確保するものです。

#### イ 街路整備事業

都市の健全な発展と機能的で魅力あるまちづくりを目指し、都市計画道路の整備を進めています。

##### ・都市計画道路 丸子中山茅ヶ崎線

本路線は、都心と湘南地域を結ぶ広域的な道路で、県土の骨格を形成する交流幹線道路として位置付けています。

現況においては、国道467号との交差点（桜ヶ丘交差点）で慢性的な渋滞が生じているため、4車線化の整備を進めています。

##### ・都市計画道路 座間南林間線

本路線は、県央地域を東西に結ぶ広域的な道路です。

県道46号（相模原茅ヶ崎）から市道17号線までの約1.6km区間は、通学路でありながら、幅員が狭く、鉄道と交差する踏切で渋滞も発生するなど、安全上課題があり、令和3年11月に都市計画変更しました。1.6kmのうち西側の0.7kmは県施工区間で、令和4年2月より事業認可を取得し、現在、用地買収に向け事業を進めています。

#### ウ 道路改良事業

多様な交流を支える道路網の整備を図るため、道路の新設や現道の拡幅を行っています。

##### ・県道46号（相模原茅ヶ崎）（仮称）上郷立体

本路線は、相模原市から茅ヶ崎市までを結ぶ県央・湘南地域における道路ネットワークを形成する交流幹線道路として位置付けており、首都圏中央連絡自動車道路のアクセス道路の役割も担っています。

現況においては、県道40号（横浜厚木）との交差点やJR相模線等の踏切があり、朝夕を中心に慢性的な交通渋滞が発生しています。

そのため、道路の4車線化とあわせて県道40号とJR相模線等の区間を高架で通過する立体交差方式で整備を進めています。

- ・ 県道 22 号（横浜伊勢原）

本路線は、横浜市と伊勢原市を東西に結ぶ交流幹線道路として位置付けています。東側の藤沢市内は 4 車線化され、西側の戸田交差点の立体化が完成し、東側、西側とも 4 車線で整備されていますが、海老名市内ははまだ 2 車線であり、慢性的な渋滞が発生しやすくなっていることから、4 車線化の整備を進めています。

## エ 都市公園事業

都市環境の質を向上させ、県民が「健康で文化的な生活」を送れることを目的として公園づくりを進めています。

- ・ 県立座間谷戸山公園

身近な自然とのふれあいを楽しめる全国初の「自然生態観察公園」であり、ボランティアとの連携による公園づくりを進めています。

- ・ 県立相模三川公園

相模川河川敷の広がりある空間と相模川の西に広がる丹沢大山山塊等の展望を楽しめる公園で、水と緑、地域文化とふれあえる県央地域の広域緑地として公園づくりを進めています。

## オ 河川事業

- ・ 都市河川重点整備計画(新セーフティリバー)の推進

過去の大雨で水害が発生した河川や都市化の進展が著しい地域を流れる厚木土木事務所東部センター管内の目久尻川、鳩川、永池川、境川、引地川、蓼川の 6 河川について重点的に整備を進め、今後約 30 年間で鳩川、境川、引地川、蓼川の 4 河川については概ね時間雨量 60mm 降雨に対応した整備を、また、目久尻川、永池川の 2 河川について時間雨量 50mm の降雨に対応した整備を積極的に進めます。

河川は、身近な自然とふれあえる貴重な公共空間であり、また、人々に安らぎや潤いを与える場所でもあるため、河川環境を整備・保全するとともに、環境学習の場や人々の交流の場として利用できるよう、流域市や地域の方々と連携を図り、景観や水質、親水などにも配慮した自然にやさしい川づくりを進めます。

- ・目久尻川河川改修工事

吉野橋付近から上流は概ね工事が完成していますが、用田橋から吉野橋までの約 3.0 km と目久尻橋から弥生橋までの約 1.3 km については、地盤沈下による堤防高不足解消のため、現在、堤防嵩上工の河川整備を進めており、これまでに目久尻橋から弥生橋までの区間と、用田橋から道庵橋までの区間の約 2.6 km が完成しています。

今年度も引き続き、道庵橋上流の護岸整備を進めます。

- ・永池川河川改修工事

東名高速上流の未整備区間約 1.3 km について、多自然川づくりを基本とした整備を進めます。「ひとも いきものも いきたくなるかわ 永池川」を基本理念として親水利用や水際部の環境の保全・再生など、人々が川にふれあえるような河川を整備します。

今年度も引き続き、河道の掘削や坂下橋の橋りょう架替工事を実施します。

- ・境川河川改修工事

老朽化した護岸や河床低下が著しい箇所を下流の改修に合わせて時間雨量概ね 60 mm の降雨に対応した河川整備を進めます。

今年度も引き続き、川幅が狭く流下能力の不足している境橋下流から相鉄線交差部までの約 1.1 km の区間において、境橋上下流の護岸整備工事を進めると共に、鉄道事業者による相鉄交差部の工事に着手します。

- ・引地川河川改修工事

最上流部にあたる新道下大橋から福田 8 号橋までの未改修区間約 1.3 km には、川の兩岸に桜が植えられ、千本桜として地域のシンボルとして親しまれています。桜景観の保全と治水安全率の向上の両立に関して地元自治会等と検討を進めた結果、平成 25 年に整備の方向性について合意に至り、平成 28 年度から工事に着手し、昨年度までに福田 7 号橋付近の護岸工事や、大山橋上流左岸の護岸工事が完了しました。

今年度も引き続き、福田 7 号橋上流の護岸工事を進めます。

- ・蓼川河川改修工事

引地川合流点上流の旧境橋から打越橋までの約 2.1 km の区間を重点整備区間として整備を進めます。今年度も引き続き、中川橋下流域で未改修となっている藪根橋下流付近の護岸工事を進めます。

また、中川橋上流域の改修に関しては、中川橋架替事業と連携して事業を進めます。

- ・土砂災害防止法に基づく土砂災害特別警戒区域の指定

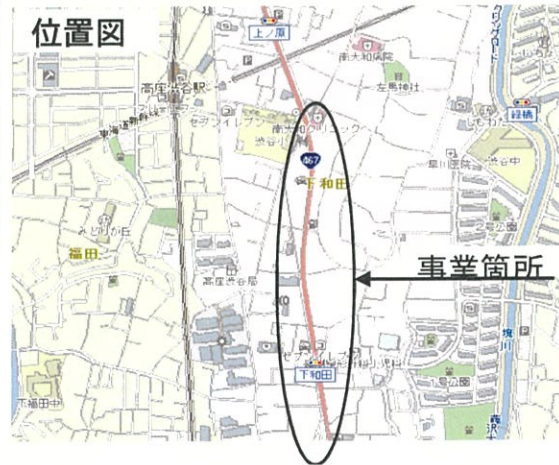
管内における土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域は、令和元年から進めていた調査が完了し、令和3年3月に座間市、令和3年5月に大和市、海老名市及び綾瀬市で指定を行いました。

今年度は引き続き、管内4市において、基礎調査2巡目の現地概査を行います。

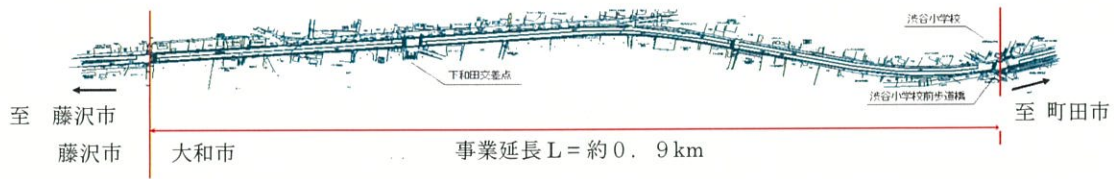
# 交通安全施設等整備事業

## 事業概要

事業名	交通安全施設等整備事業
路線名	国道467号
事業箇所	大和市下和田地内
事業概要	延長 L=約0.9km
	幅員 W=16m 歩道整備工 W=3.5m×2
全体事業費	約14億円



## 平面図



## 現況

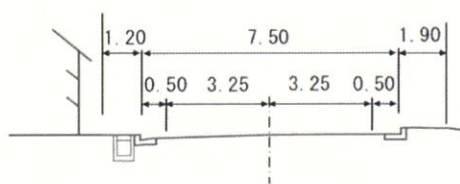


歩道整備状況

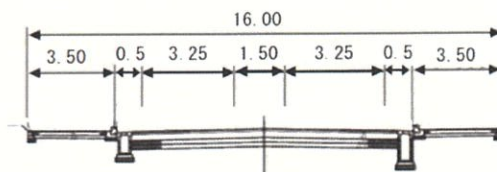


令和5年度事業予定箇所付近

## 標準横断面



(現況)



(完成)

都市計画道路 丸子中山茅ヶ崎線

事業概要

事業名	街路整備事業(公共・県単)
路線名	都市計画道路丸子中山茅ヶ崎線
事業箇所	大和市上和田地内
事業年度	平成14年度～
事業概要	延長 L=1,017m 幅員 W=27 m 工事内容 街築工、舗装工、擁壁工 横断歩道橋 等
全体事業費	約 9,000百万円

位置図



平面図



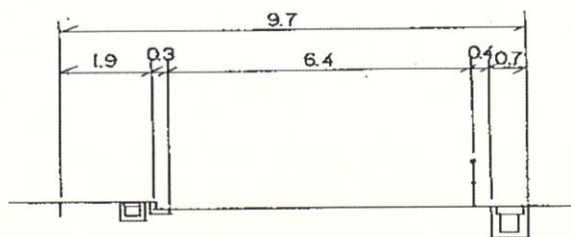
事業着手前



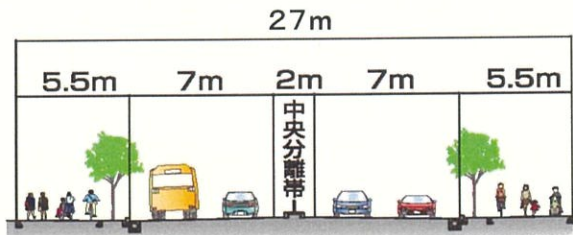
現況(歩道一部完成)



標準横断面図



(現況)



(完成)



# 都市計画道路 座間南林間線

## 事業概要

事業名	街路整備事業(公共・県単)
路線名	都市計画道路座間南林間線
事業箇所	座間市座間1丁目～入谷西2丁目地内
事業年度	令和3年度～
事業概要	延長 L=680m 幅員 W=17m 工事内容 街築工、舗装工、擁壁工
全体事業費	約2,700百万円

## 位置図



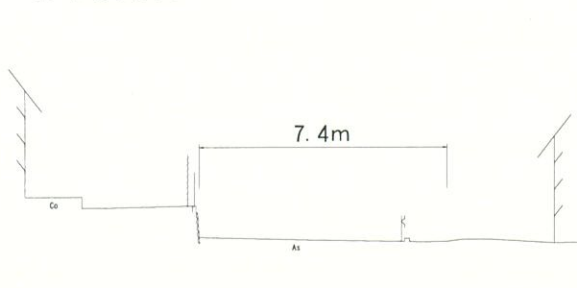
## 平面図



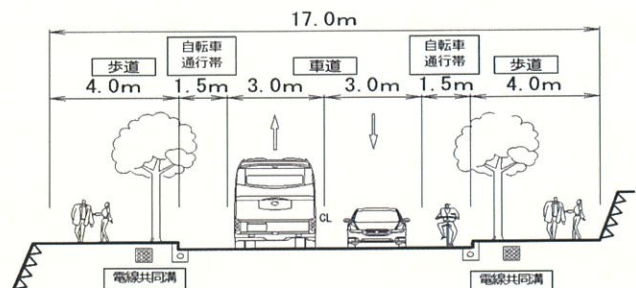
## 事業着手前



## 標準横断面図



(現況)



(完成)

県道46号(相模原茅ヶ崎) 上郷立体

事業概要

事業名	道路改良事業 (公共・県単)
路線名	県道46号(相模原茅ヶ崎)
事業箇所	海老名市上郷～河原口
事業年度	平成30年度～
事業概要	延長 L=約800m 幅員 W=27.0～40.3m 工事内容 街築工、舗装工、擁壁工 橋梁上部・下部工、ボックスカルバート工
全体事業費	約 5,900百万円

位置図



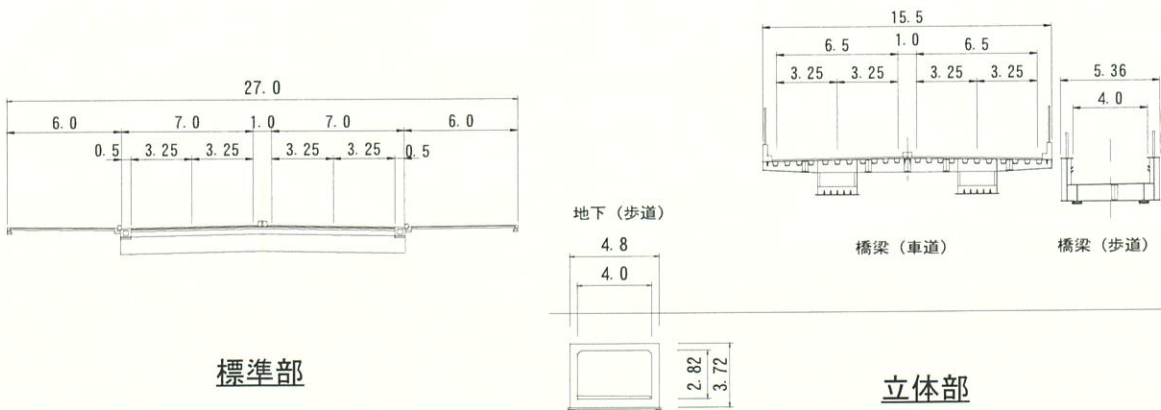
現況写真(鉄道交差付近)



現況写真(踏切付近)



標準横断面図



# 県道22号(横浜伊勢原)

## 事業概要

事業名	道路改良事業 (公共・県単)
路線名	県道22号(横浜伊勢原)
事業箇所	海老名市本郷～門沢橋一丁目
事業年度	平成30年度～
事業概要	延長 L=約2100m 幅員 W=25.0m 工事内容 街築工、舗装工、擁壁工等

## 位置図



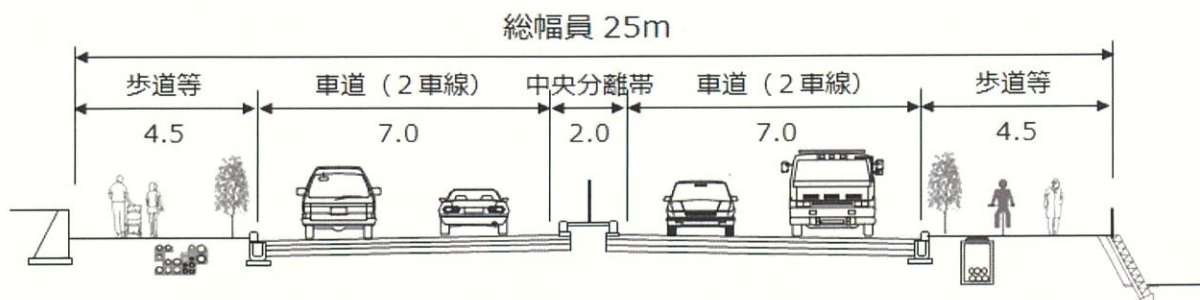
## 平面図



## 現況写真



## 標準横断面図



都市公園

○ 県立 相模三川公園(都市緑地)

事業概要

都市計画決定	平成12年2月22日 (平成6年12月9日)
都市計画面積	24.4ha(24.0ha)
開園面積	16.7ha
主要施設	スポーツ広場、芝生広場 夕焼けの丘、パークセンター ふれあい広場、駐車場 など
主要事業	施設長寿命化対策工事

位置図



▼夕焼けの丘



▼ふれあい広場



○ 県立 座間谷戸山公園(風致公園)

事業概要

都市計画決定	令和3年11月9日 (昭和63年1月19日)
都市計画面積	32.3ha(32.1ha)
開園面積	31.0ha
主要施設	パークセンター、散策園路 里山体験館、伝説の丘、水鳥の池 湿生生態園、駐車場 など
主要事業	施設長寿命化対策工事

位置図



▼水鳥の池



▼里山体験館

